

法人格	フリガナ	コココロ	フリガナ	タン ナオフミ	団体設立日	平成4年4月1日			
有	団体名	こころ	代表者名	丹 直文	法人設立日	平成18年8月			
活動地域	松山市内		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア			
主たる活動の種類	障害者の小規模作業所		個人		有償	有償			
従たる活動の種類			団体		無償	無償			
所在地	〒791-1113 松山市森松町1113-1		単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金
TEL	089-958-9190	18年度							
FAX	089-958-9190	17年度							
Eメール	coro2-fukushi@s7.dion.ne.jp	16年度							
ホームページアドレス	http://www.k2.dion.ne.jp/~coro2/								

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>養護学校卒業後の人達の就職先がないため、日中活動の場として設立。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>課題発見力 21</p> <p>情報発信力 18</p> <p>組織育成力 30</p> <p>事業推進力 17</p> <p>財源開発力 19</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の日中活動・・・生活力、社会性を見つける為の様々なこころみ ・ 仕事づくり・・・社会人として仕事をする事で自信につながる ・ 就労支援・・・できれば、一般就労をめざしての取り組み ・ ボランティアの育成 ・ 地域で障害者が受け入れてもらえるよう、いろんな人達を通じて作業所を理解してもらう 	
主な活動実績	
<p>平成4年4月より作業所を運営し、障害がある人達の社会参加の場として、また日中活動の場として、たくさんの人達に利用されてきた。</p>	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<p>心身に何らかの障害を持つ人達が、地域の中でより豊かな生活を送ることができるよう援助すると共に、労働を通しての発達保証を目指し、社会人としての自身の確立を目指す。</p>	<p>特に知的障害の人達との接し方には自信があるので、イベントの時などはボランティアとして動くこともできます。</p>
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者自立支援法で、作業所も大変難しくなってきました。 ・ 経営面で専門性も求められます。 ・ 特に、経理に関しては素人なので、教えてくれる人が必要だと思います。 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<p>9月30日・10月1日に、松山で「きょうされん」の全国大会が開かれます。全国から障害を持つ仲間や家族・関係者が2,500名ほど集まります。 大会を安全に、また、愛媛のよさをアピールするためにはたくさんの方々の協力が必要です。車イス移動の介助等は元気な男性に、各会場間の誘導は若い学生さんに、物品の販売等は主婦の方々にいろいろお願いしたいことはあります。</p>	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力		合計:	21
◆様々な手法による課題・ニーズの把握			
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。			3
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。			1
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。			3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。			4
◆課題・ニーズを把握するための環境			
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。			2
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。			2
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。			3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。			3

2. 広報を活かす力		合計:	18
◆様々な手法による広報活動			
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。			4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。			3
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。			3
◆広報の対象についての調査、活用			
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。			2
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。			2
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。			2
◆広報結果の調査、整理			
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。			1
◆広報活動の環境			
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。			1

3. 組織を育てる力		合計:	30
◆人材の受け入れ、育成			
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。			4
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。			4
◆組織全体で進める体制			
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。			3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。			4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 4 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 4 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 4 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 3 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 17

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 2 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 2 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 2 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 2 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 2 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 19

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 2 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 2 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 3 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 1 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|